



特別医療法人高明会
西宮渡辺病院

2005.11.1

vol.21

西宮市室川町10番22号
TEL:0798(74)2630 FAX:0798(74)7257
ホームページ <http://cvnweb.bai.ne.jp/~nw-hosp/>



開院40周年を迎えて

院長 渡邊 高

今年の夏の暑さは厳しいものでしたが、台風襲来も少なく、関西では昨年のような大きな被害はありませんでした。

そんな中突然に起こった衆議院解散・総選挙は、自民党の大勝利に終わり、小泉内閣が再出発しました。現在、郵政改革が行われていますが、次は医療の構造改革が行われることが大いに予想されるようです。

私共の病院は、地域に密着して急性期医療を行うという歩みを続けてまいりました。平成7年には阪神大震災により、この地域も未曾有の被害を被りましたが、その後も特別医療法人への改変を行い、より地域に密着した医療を展開してきました。

平成12年には、生活習慣病学習センターを設立し、健診と予防・治療を充実させ、地域完結をめざした役割分担を見据えた病院医療提供と、地域との連携に努力してきました。

平成15年11月に開設した、グループホームむろかわでは、高齢化社会の進展と家族制度の変化などによって増加している、認知症や一人暮らしの高齢者の方々が社会生活を送るお手伝いをさせていただいております。ホームでは、健康維持のために規則正しい生活を送り、皆で楽しく食事をしたり、昔話に花を咲かせたりと、入居者の方々やご家族さまに喜ばれており、その役割を果している実感しております。そして先日、入居者さまの一人が、めでたくも100歳

を迎えられたことは、大変喜ばしいこととあります。

このように、地域に密着してこの地にふさわしい医療を提供する病院として邁進してきた私共の病院は、本年11月で開院40周年を迎えました。

折りしも昨年、私共の病院の役割・方向性を見直す、心臓血管分野を分離・特化した心臓センター構想が提案されましたが、本年、その構想を総会で発表し、池田町に新病院の設立建設工事が行われています。

開院40周年を迎え、そして新病院の開院を控え、私共の新たな抱負を申し上げたく思います。

早期発見と診断を叶える、病院医療を提供する。特に時間との戦いである心臓循環・血管の治療に特化した病院医療を、地域に密着して提供する。

(来年5月頃オープン予定)

急性期症状を経過した患者さまが、交通に便利な場所で継続療養を行える老健施設を提供する。医療の、継続性・安全性・先進性が反映された病院運営を行う。

運動や予防など、自己努力が求められる時代にあって、生活習慣の改善を行うことにより、病気にならずに健康に働き、活動できる明るい生活環境作りに協力する。



関節外来を開設しました



膝の関節や股の関節が痛くて、外出がおっくうになっている方や、色々なことを試したけれど痛みが取れないという方はいらっしゃいませんか？

このような方を対象として10月より当院では、大阪市立大学医学部整形外科人工関節グループの協力のもと、関節外来を開設しました。

変形や炎症により痛みの起こる関節を人工の関節に

置き換える手術(人工膝関節手術・人工股関節手術)についてもお話をさせていただきます。

関節痛にお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

外来日 : 毎週火曜日 14時～16時

担当医師 : 小林章郎医師・岩城啓好医師

(一週交代で担当いたします)



ジェネリック医薬品って??



最近、TVや広告・雑誌などで、**ジェネリック医薬品**という言葉が聞くことが多くなりました。『ジェネリック医薬品って、一体何?』『自分が今もらっている薬とどこが違うの?』と書いていらっしやる方も多いと思います。

そこで今回は、このジェネリック医薬品についてご説明します。

【ジェネリック医薬品って何?】

日本で最初に発売された新薬は、『先発品』と呼ばれます。先発品は特許に守られ、一定期間独占販売が認められます。しかし、その期間が過ぎると別のメーカーでも、同成分・同効果の医薬品を製造販売することが認められ、改めて臨床試験を経て発売の許可を得る事ができるようになります。こうして新薬の特許が切れてから発売になる後発の医薬品を『ジェネリック医薬品』といいます。



【ジェネリック医薬品の良いところ】

ジェネリック医薬品の良いところは、一つ目にその効果と安全性です。先発品が発売されている間にも、ライバルの製品が続々と発売になりますが、中でもよりよく効き、より安全性が高い製品が生き残ります。そしてその製品の特許期間終了後に、同成分・同効果として製造販売されるジェネリック医薬品は、効果と安全性が高い医薬品と言えるでしょう。

二つめの良いところはその価格で、先発品と比較して、価格は2～8割程度に設定されています。低価格なのは、研究開発費や、製品PRにかかる費用が少なくすむこと

が大きな要因とされています。例えば高血圧の薬なら、社会保険・国民健康保険の3割負担の方で、1ヶ月に640円、年間では7,680円も薬代が安くなるというデータがあります。現在、国民医療費は増加の一途をたどっていますが、このジェネリック医薬品を使用することは、高騰する医療費の抑制にも貢献すると言えます。

【ジェネリック医薬品の困ったところ】

それではジェネリック医薬品を使う上で困ったことはなんでしょうか?それはなんとと言っても、取り扱っている薬局が少ないということです。病院で処方箋を発行してもらったけど、調剤薬局に行ってみるとその薬が置いていないということで、別の薬局を探す羽目になったり、同成分・同効果の違う薬への変更を担当医師に確認するのに、時間が必要以上にかかってしまうといった事態になることが、ジェネリック医薬品では多いのが現状です。

以上、ジェネリック医薬品について簡単に説明させて頂きましたが、患者さまの病気によってはジェネリック医薬品は発売されておらず、新薬

しかない場合があります。また、同じ疾病でもその程度や患者さま個人個人の体質などによって投薬効果は変わってきます。

ジェネリック医薬品に興味をお持ちの方は、一度主治医までご相談ください。



★ 生活習慣病学習センター研修会を行いました ★

去る9月3日、平成17年度生活習慣病学習センター第2回研修会(日医生涯教育認定講座)として、神戸大学医学部附属病院院長の春日雅人先生を講師としてお迎えし、『2型糖尿病の成因と治療』の演題で講演会を開催しました。

講演会は、近隣開業の先生方や職員などが多数参加する中、2型糖尿病の成因としての遺伝素因と環境要因、そしてインスリン分泌の低下と抵抗性が詳しく話された後、治療目標と治療方法について説明されました。



また10月8日には第3回研修会として、岡山労災病院副院長の岸本先生を講師としてお迎えし、『石綿曝露による健康被害 - 中皮腫を中心として -』という演題で講演会を開催しました。

昨今石綿被害が大きな問題として取り上げられていることもあり、多数の方が参加する中、石綿曝露と中皮腫の関係や中皮腫の治療などについて講演が行なわれました。

両講演会とも、講演のあとは活発な質疑応答が行われ、非常に実り多き講演会となりました。



内臓脂肪とメタボリックシンドローム

最近、新聞や雑誌・TVなどで、『メタボリックシンドローム』という言葉を目にする機会が多くなりました。

メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪型肥満によってさまざまな病気が引き起こされやすくなった状態を言います。

日本人の死因の多くを占める、心臓病や脳卒中、などの循環器病を引き起こす原因は動脈硬化です。そしてその動脈硬化の危険因

としてコレステロールがあり、最近の研究では特に内臓まわりに付着した脂肪

がさまざまな生活習慣病を引き起こし、動脈硬化の大きな原因になっていることがわかってきました。

そもそも、体のどの部分に脂肪がつくかによって、肥満は2つのタイプに分かれます。下腹部・腰まわり・太もも・

おしりまわりの皮下に脂肪が蓄積するタイプを『皮下脂肪型肥満』、内臓まわりに脂肪が蓄積するタイプを『内臓脂肪型肥満』と呼びます。

この2つのタイプのうち、皮下脂肪型肥満は外見ではわかりやすいですが、内臓脂肪型肥満は外見ではわかりにくいことがあります。内臓脂肪型肥満を簡単に調べる方法として、おへそまわりが男性では85 cm以上、女性では90 cm以上であれば、内臓脂肪型肥満が疑われます。

そしてこれに、高脂血症・高血圧症・糖尿病のうち2つ以上が軽度であっても重複している人は、メタボリックシンドロームです。



調査によって、軽症であっても肥満・高血圧・糖尿病・高脂血症(または高コレステロール血症)の危険因子を2つ以上持った人は、まったく持っていない人と比較して、心臓病の発症リスクが10倍近くに、3~4つ持つ人では31倍にもなることがわかりました。

そんな中、メタボリックシンドロームという概念が確立された目的は、動脈硬化による循環器病をいかに予防するかということです。動脈硬化はある程度症状が進まないかぎり、なかなか症状として出にくい病気です。しかも動脈硬化による循環器病は、働き盛りに突然発症することが多く、生命に関わる重大な病気の後遺症も深刻です。メタボリックシンドロームを放置しておくと、やがては動脈硬化を引き起こします。そうならないために、メタボリックシンドロームの段階で改善することが必要です。メタボリックシンドロームの人は、40歳以上では3人に1人ともいわれています。特に肥満ぎみの人は要注意です。

対処法は、まずは生活習慣の改善。脂っこいものや高カロリー食、甘いものの食べ過ぎに注意し、規則正しいバランスの良い食事を心掛けましょう。また、ウォーキングやジョギングなど、毎日適度な運動をする習慣を身に付けましょう。加えて、既に高血圧・糖尿病・高脂血症を基礎疾患として持っている方は、医師と相談しながらそれら基礎疾患の改善・コントロールにつとめましょう。

また、今まで医師にかかったことのない方も、心配な点などありましたら、当院までお気軽にご相談ください。



重心動揺計を導入しました

当院では、9月末に重心動揺計を導入しました。

重心動揺計とは、めまいやふらつきなどの平衡機能障害を体の揺れとして捉えて、その揺れの速さ・方向・集中度合いをコンピューターで解析することで、めまいを客観的に評価するとともに、症状の原因の推測に役立ちます。めまいやふらつきといった症状は、患者さまの主訴による主観的なものと考えられがちですが、現実にはどの程度の揺れがあるのか客観的に評価を行うことはとても意義のあることです。また、内服加療などの治療途上で検査し、めまいやふらつきといった症状がどの程度改善したかを客観的に数字の変化としてとらえる事は、治療効果を確認する上でとても重要なことです。

検査はとても簡単です。めまいやふらつきの症状があ

る患者様に対して、まず医師は「ちゃんと直立しているか」「まっすぐに歩けるか」「眼振(眼球が揺れ動くこと)はないか」などの標準検査を行います。その後検査室にて重心動揺計にのっていただき、始めに目をあけたままで1分間、少し休憩して次に目を閉じた状態で1分間立っていただくだけです。服を脱ぐ必要はなく、靴下もはいたままでできる検査です。また、1分間立っているのが困難な患者さまの場合には、30秒間でも検査可能です。検査にかかる時間は、全体で約5分くらいです。

めまいやふらつきなどの症状がある方は、どうぞお気軽にご相談ください。





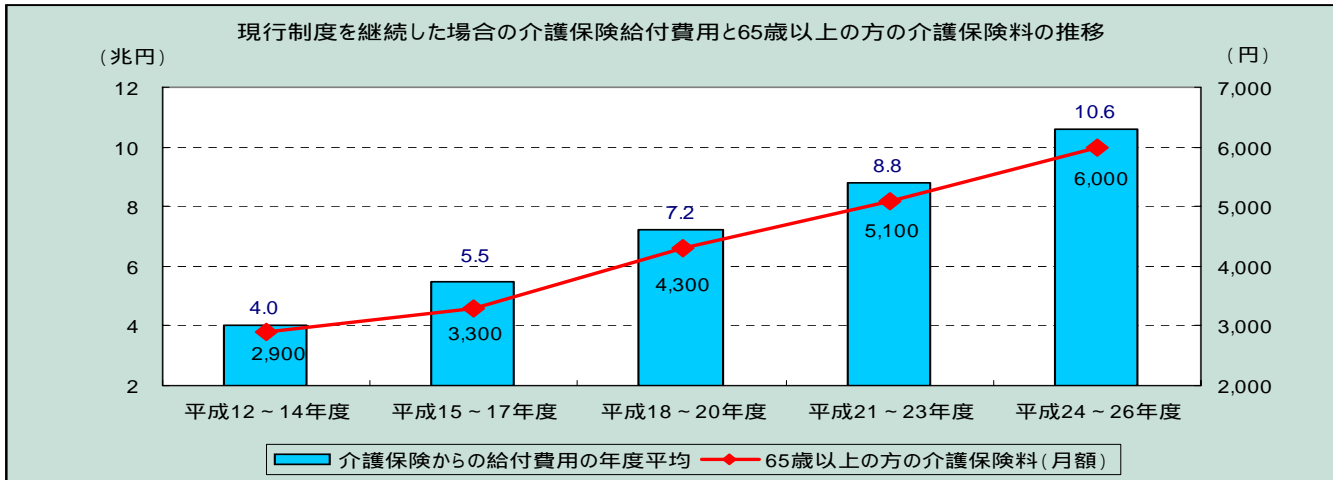
介護保険施設などの利用料が変わりました

平成12年4月に施行された介護保険制度が、来年4月に改定を迎えますが、その改定を前に、10月より介護保険施設など利用料の見直しが行われました。

その背景には、制度施行後サービス利用者が急速に拡大し、それに伴い介護保険制度から給付される費用も年々増大し、平成17年度では約7兆円(スタート時の約2倍)に達する勢いであるということがあげられます。この費用をまかなう為には、来年4月から介護保険料を全国平均で1000円程度上昇させなくてはいけなくなり、その上昇を防ぐためにこの度介護保険施設などの料金負担に関する見直しが行われたのです。行政側はこの見直しにより、来年4月からの保険料の上昇を月額200円程度に抑えられると見込んでいます。(下記グラフ参照)

見直しの対象となるのは、介護保険施設(特別養護老人ホーム・老人保健施設・介護療養型医療施設)の利用者の居住費・食費 ショートステイの利用者の滞在費・食費 デイサービス・デイケアの利用者の食費 です。これらの費用は、施設や事業所ごとに設定されており、利用する施設等により異なります。また低所得の方には、負担限度額が設けられ、一般の方よりも負担が軽減されるようになっています。

当院は医療保険型の医療施設ですので、今回の見直しとは直接関係しませんが、当院を退院後に施設等への入所や、介護療養型医療施設への転院などを考えておられる方で、今回の見直しについて不明な点などございましたら、医療相談室までご遠慮なくお問い合わせください。



平成17年度 健康体操教室のご案内

当院では、下記のような日程で、健康体操教室を開催しております。運動不足の方、医師より運動を勧められている方など、どなたでも参加できる教室ですが、教室参加の際には必ず診察(健診)を受けて医師の

運動許可が必要になります。(ただし、体験コースは不要) 各教室定員20名で、定員になり次第締め切らせていただきます。詳しくは、リハビリテーション科までお問い合わせください。

	無料体験コース	月曜コース (講義+運動)	火曜コース (運動のみ)	水曜コース (運動のみ)	金曜コース (運動のみ)
対象	新規のみ 火曜: 外来対象 木曜: 入院対象	新規のみ	運動初心者 (予約制)	教室経験者	教室経験者
強度	低強度	低強度	低強度	中等度	中等度
時間	午前11時～11時20分	午後3時～4時	午後3時～4時	午後3時～4時	午後3時～4時
内容	ストレッチ教室 第1週: 上肢中心のストレッチ 指導(肩凝り解消等) 第2週: 体幹中心のストレッチ 指導(腰痛改善等) 第3週: 下肢中心のストレッチ 指導(こむらがり等) 第4週: 全身のストレッチ指導	転倒予防教室 (骨粗鬆症者対象) 全11回コース 7月～9月 腰痛対策教室 全11回コース 10月～12月 ウォーキング教室 全11回コース 1月～3月	ストレッチ教室 指導担当: 小坂 健康講話 健康体操 ストレッチ ホームエクササイズ指導等	ヘルスアップ教室 指導担当: 石田 健康体操 ストレッチ チューブ BOSUバランス ペアエクササイズ ヨガ バルーン等	健康教室 指導担当: 七種 体操資料の配布 健康講話 健康体操 ストレッチ 太極拳 筋力トレーニング BOSUバランス バランスボール等



むろかわ News に対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

※ 当院各階デイルーム・1F 出入口に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。